

地域連携推進室から

学生による地域との連携活動

学生による様々な地域貢献活動が今年度も行われています。「日立地区三モール商店街活性化事業」では、日立市と地元商店街によるイベントを定期的に開催していますが、オリジナルキャラクターを活用した企画は、学生ならではの工夫から子ども達の人気が高く商店街活性化の一助になっています。

常陸太田市との連携では、十月下旬に開催された「巨木を語ろう全国フォーラム茨城・常陸太田大会」パンフレット作成に、学生による名木紹介記事を掲載しました。学生たちは、事前の現地視察で改めて地域の豊かな自然を知る機会を得ました。



常陸太田市名木紹介パンフレット

震災の影響から、今年は各地の祭り自粛が続きましたが、大みか地区では地元コミュニティ主催による第一回「大みか

祭り」が八月二十日(土)開催されました。oop! (おもしろいおみかプロジェクト) ユース委員会の学生を中心に、児童文化研究会、港の会、華道部など延人数約一〇〇名の学生が参加協力しました。二月からの打ち合わせ会にはじまり、雨の中の準備を含め運営協力に携わりました。



第1回大みか祭り(於 大甕駅前)

この他に、高萩市での復興支援ボランティアなど地域における学生活動が行われました。ボランティアに参加した学生の中には、限られた時間での協力しかできないと申し訳なさそうに話す学生もいますが、各主催団体や地域の方々からは、「茨キリの学生の協力により助かりました。」という声が多く届いています。誰かのために、そして自分のために、今後もたくさんの方が地域活動へ参加協力して下さることを期待しています。